

テレメトリー回転センサー
(光学式)

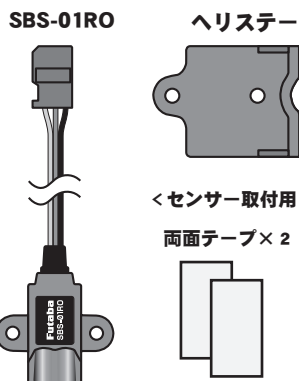
SBS-01RO

取扱説明書

この度はテレメトリー回転センサー SBS-01RO をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。この SBS-01RO は、テレメトリー受信機との組合せて機体のプロペラやローターなどの回転数を検知して、そのデータを受信機から送信機などに発信することができます。ご使用前に、本書ならびにご使用のテレメトリー送受信機の取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。また、お読みになられた後も大切に保管してください。

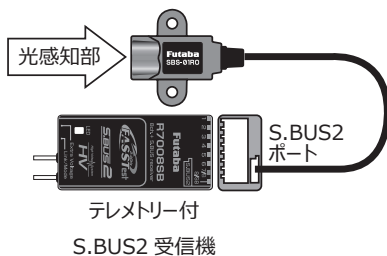
●このSBS-01ROは、Futaba製テレメトリー送受信機に対応します。

付属品



接続

テレメトリー機能付きの受信機 S.BUS2 ポートに接続してください。複数のセンサーを使用する場合は、ハブでまとめてすべて S.BUS2 ポートへ接続します。



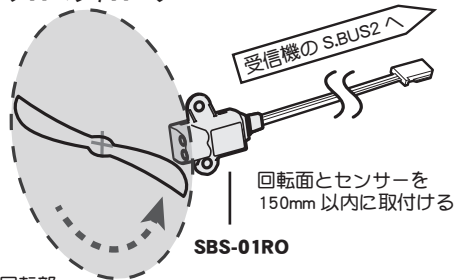
光量

SBS-01RO は光センサーで回転数を検知します。十分な光量がなければ回転を検知することができません。室内、曇天、そして朝夕などは使用できない場合があります。また、機体の光に対する向きにより、検知できないことがあります。これらの場合回転数が 0rpm の表示となります。
* 太陽光以外の光源では正しく測定できません。

スロット No.

スロット No. は初期設定でスロット 2 に設定されています。スロット No. の変更や表示方法、アラームの設定などはテレメトリー対応送信機の説明書をご参照ください。

プロペラ/ローター



＜ SBS-01RO ＞

用途：光学式回転センサー
全長：160mm
重量：4.9g
電圧：DC3.7 ~ 7.4V
測定範囲：360 ~ 300,000RPM/羽数

※ヘリに使用する場合

構造上ローターとセンサーの距離が離れるヘリは、回転検知が不安定になる場合があります。ヘリにはマグネット式の SBS-01RM を推奨します。

●プロペラ/ローターの羽数

プロペラ/ローターの羽数により回転数表示が異なります。初期設定は 2 枚ペラに合っています。3 枚ペラや他のプロペラをご使用の場合は送信機で羽数を変更してください。(送信機の設定は送信機の取扱説明書のテレメトリー部をご覧ください。)

●ID ナンバー

SBS-01RO には、それぞれ固有の ID ナンバーが記憶されています。(ケース側面に表示) 通常は使用しませんが、SBS-01RO を 1 機に複数使用する場合送信機にこの ID ナンバーを登録して使用します。(登録の方法は送信機の取扱説明書のテレメトリー部をご覧ください。)

警告

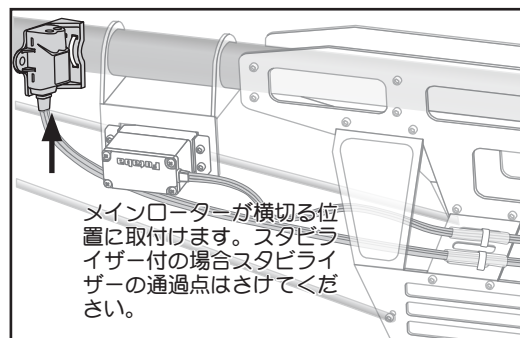
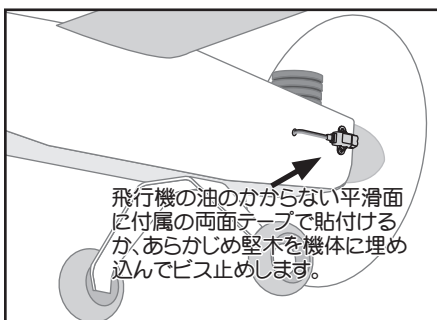
- ❗ **SBS-01RO は必ずテレメトリー機能付 Futaba 受信機の S.BUS2 ポートに接続して使用する。**
■従来の S.BUS ポート、CH 出力ポートに接続しても動作しません。
- ❗ **コネクタの極性に注意する。**
■逆接すると故障や配線からの発火の恐れがあります。
- ❗ **エンジン・モーター回転中は、回転センサーに触らない。**
■回転部に触れると大ケガの恐れがあります。
- ❗ **センサーは下記の取付方法に従い、確実に取付ける。**
■回転中に脱落すると、飛散物でケガをする恐れがあります。また、飛行中に脱落すると墜落等の恐れがあります。
- ❗ **取付けはプロペラなどが回らない、安全な状態でなう**
■万一取付け中に回転するとケガをする恐れがあります。
- ❗ **基板部には防振対策をおこなう。**
■基板部には電子部品が使用されています。振動、衝撃、高温等に対する保護対策を施してください。
- ❗ **配線ケーブルは機体搭載時、引っ張られた状態ではなく、多少余裕があるようにする。**
■ケーブルが引っ張られた状態だと、振動により、配線切れやコネクタ抜けによる、動作不良の恐れがあります。
- ❗ **組立後は必ず動作検査を行う。**
■検査が終わるまでは飛行させないでください。
- ⊘ **プロペラ/ローターにセンサーが接触しないようにする。**
■プロペラ/ローター/センサーが破損、飛散してケガをする恐れがあります。
- ⊘ **燃料や水分をかけてはいけない。**
■基板部には電子部品が使用されています。燃料や水分がかかると故障します。
- ⊘ **ラジコン模型以外には使用しない。**
■この製品はホビーラジコン用に設計されています。その他の用途には使用できません。

取付について

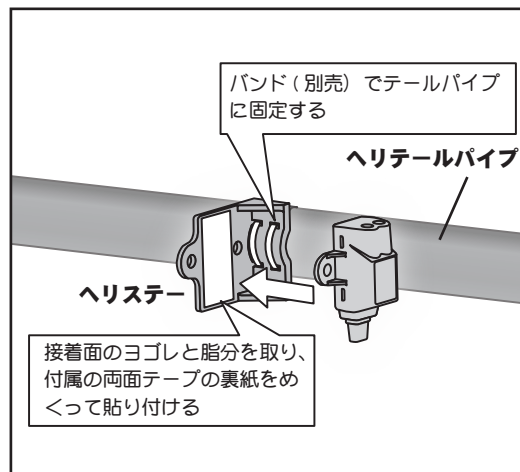
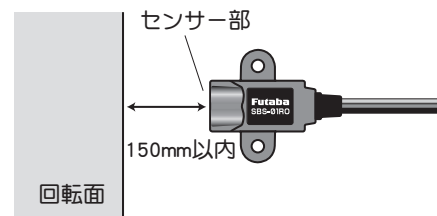
[飛行機]

●センサー取付例

[ヘリ]



検知部とプロペラが 150mm 以内になるようにします。接近しすぎるとプロペラやローターにあたる危険性があります。間隔が開きすぎると感知しません。
* 測定が安定するかは、周囲の光量、光源の向き、回転面とセンサーの間隔などで変化します。プロペラ、ローターに当たらない範囲でできるだけ近い位置への取付をおすすめします。
* プロペラ、ローターの色や表面の状態により検知しにくい場合があります。



■双葉電子工業(株) ラジコンカスタマーサービス
〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080 TEL.(0475)32-4395